

(5) 高齢期

1) 健康状態の現状

①介護保険認定者及び認定率の推移

要介護認定者数の推移を見てみると平成22年度10月時点では、3,856人と増加で推移しています。

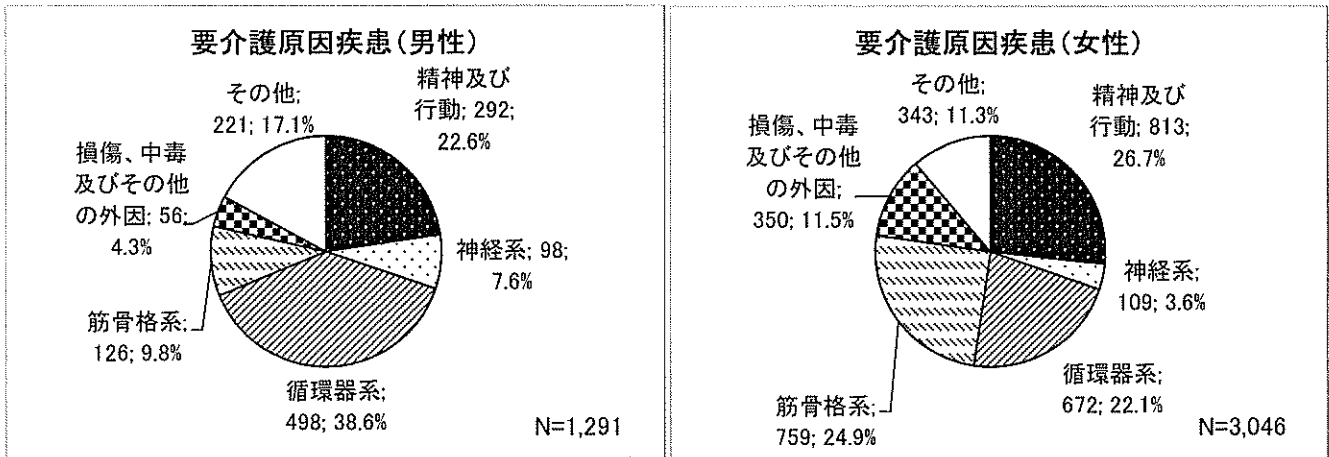
介護保険認定者数及び認定率の推移

	平成18年 10月	平成19年 10月	平成20年 10月	平成21年 10月	平成22年 10月
要介護認定者数	3,380	3,476	3,679	3,735	3,856
第1号被保険者	3,257	3,359	3,530	3,589	3,711
前期高齢者(65～74歳)	541	523	535	500	502
後期高齢者(75歳以上)	2,716	2,836	2,995	3,089	3,209
第2号被保険者(40～64歳)	123	117	149	146	145
要介護認定率	18.0%	18.0%	18.7%	18.6%	19.1%
第1号被保険者	17.3%	17.4%	17.9%	17.9%	18.4%
前期高齢者(65～74歳)	2.9%	2.7%	2.7%	2.5%	2.5%
後期高齢者(75歳以上)	14.4%	14.7%	15.2%	15.4%	15.9%
第2号被保険者(40～64歳)	0.7%	0.6%	0.8%	0.7%	0.7%

資料:介護長寿課

※認定率:65歳以上の人口に対する認定者(2号被保険者含む)の割合

②要介護原因疾患の内訳 (資料:介護長寿課)



要介護原因疾患を性別で見ると、男性は「循環器系疾患」が38.6%を占め最も多く、そのなかでも脳血管疾患が大半を占めています。女性は筋骨格系が24.9%を占め最も多く、内訳では関節症が多いです。また、骨折も多い疾患となっています。

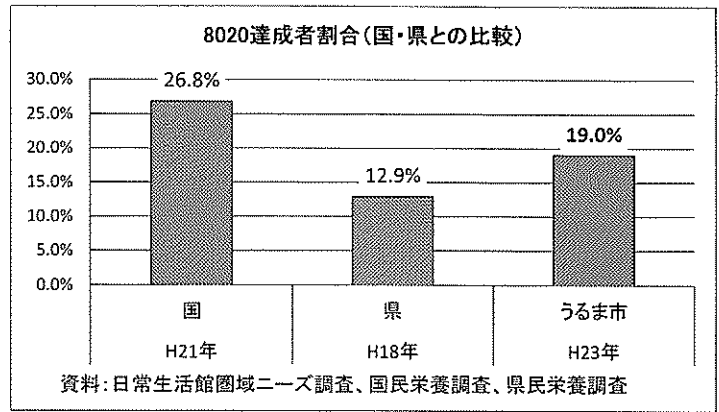
要介護原因疾患

大分類	中分類	介護度別							性別		総計
		要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	男性	女性	
精神及び行動の障害	血管性及び詳細不明の認知症	12	11	121	102	103	149	119	166	451	617
	その他の精神及び行動の障害	2	3	65	68	84	71	61	75	279	354
	統合失調症、統合失調型障害及び妄想障害	4	3	25	14	6	11	2	26	39	65
	その他	7	8	21	12	13	7	1	25	44	69
	精神及び行動の障害	25	25	232	196	206	238	183	292	813	1,105
神経系の障害	パーキンソン病	5	8	9	13	21	24	22	43	59	102
	アルツハイマー病	0	0	2	6	4	3	1	6	10	16
	その他の神経系の疾患	0	9	4	14	9	11	21	34	34	68
	その他	2	2	1	3	3	5	5	15	6	21
	神経系の障害	7	19	16	36	37	43	49	98	109	207
循環器系の障害	心疾患	32	34	31	33	22	23	13	51	137	188
	脳血管疾患	44	110	87	140	172	174	197	431	493	924
	その他	8	14	14	11	4	5	2	16	42	58
	循環器系の障害	84	158	132	184	198	202	212	498	672	1,170
筋骨格系の疾患	関節症	58	102	50	48	45	39	13	27	328	355
	脊椎障害(脊椎症を含む)	25	52	34	29	16	18	4	43	135	178
	炎症性多発性関節障害	6	20	5	15	9	11	10	7	69	76
	その他	31	53	39	43	24	50	36	49	227	276
	筋骨格系の疾患	120	227	128	135	94	118	63	126	759	885
損傷、中毒及びその他の外因の影響	骨折	27	72	34	62	78	72	33	41	337	378
	その他	2	6	1	4	3	6	6	15	13	28
	損傷、中毒及びその他の外因の影響	29	78	35	66	81	78	39	56	350	406
	その他	62	98	84	102	71	88	59	221	343	564
	総計	327	605	627	719	687	767	605	1,291	3,046	4,337

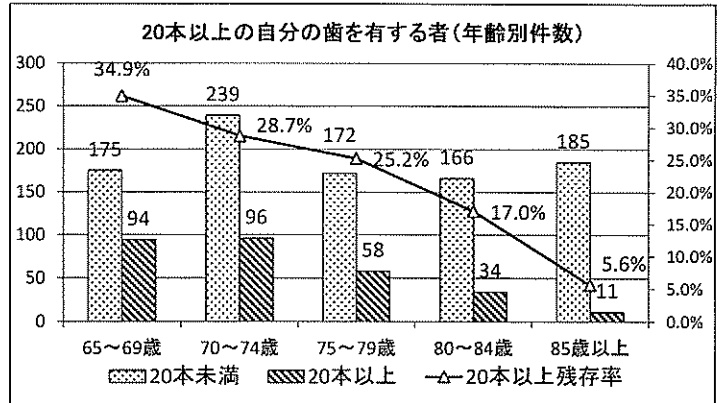
資料:介護長寿課

③8020の達成状況

8020 達成状況は 19.0% [92 名/483 名中] であり、国に比べ残存歯が少ない状況にあります。

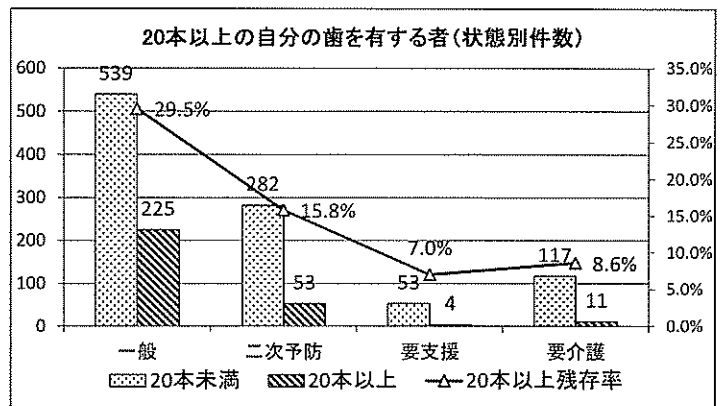


「20 本以上の自分の歯を有する者の数」は年齢が上がるほど減少しています。うるま市の「80～84 歳」の 20 本以上残存率は 17.0% (国の目標値 20%以上) となっています。

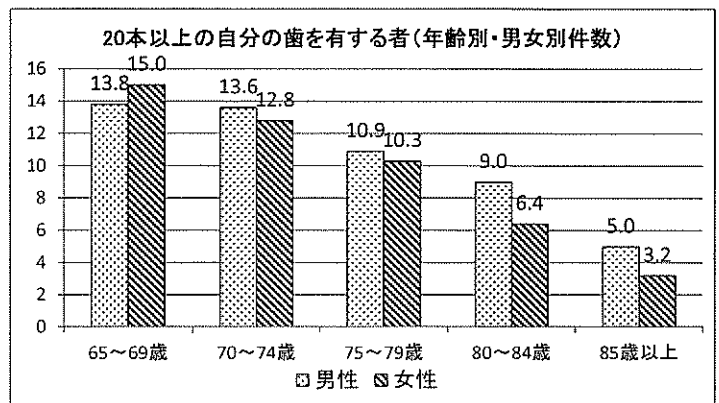


「20 本以上の自分の歯を有する者の数」を認定別でみると、認定者(要支援、要介護)は非認定者(一般、二次予防)に比べてかなり低くなっています。

「20 本未満」の件数も認定者が非認定者に比べて低くなっています。



一人平均残存本数は女性よりも男性が高くなっています。年齢が上がるほど歯の本数は減少しています。

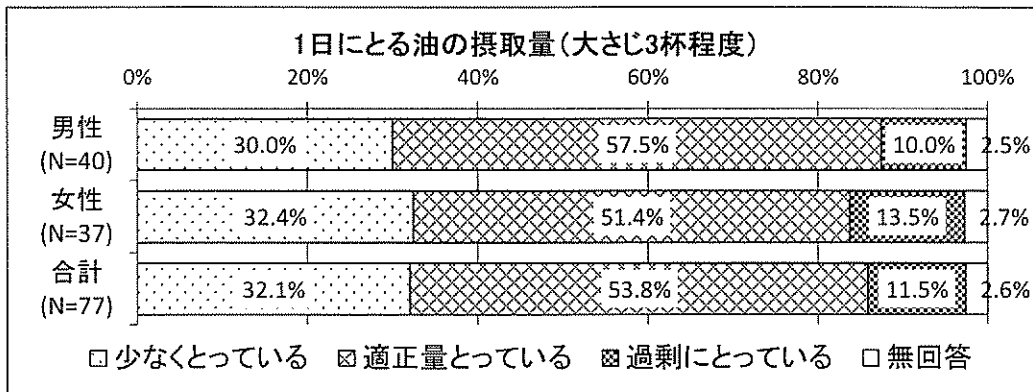


資料: 日常生活圏域ニーズ調査

2) 生活習慣（本人・周りの人の取り組み）の状況

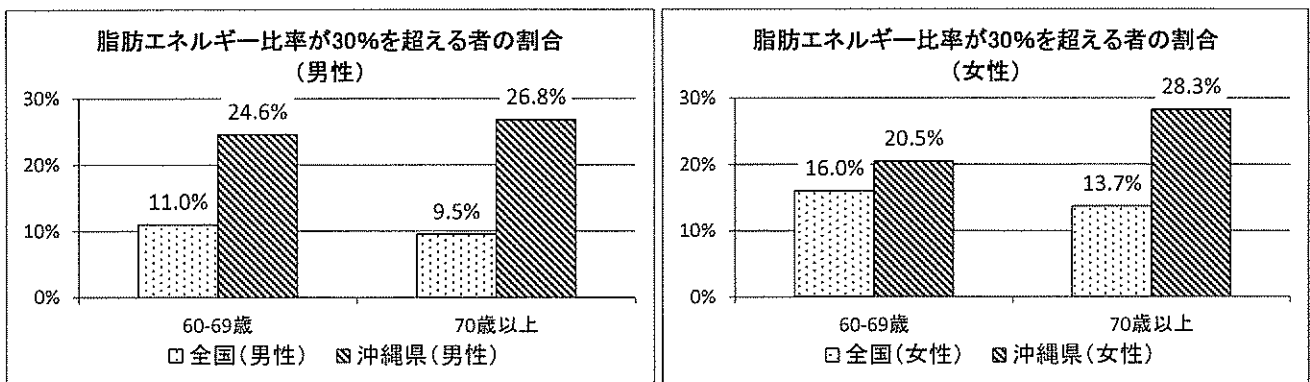
①食・栄養

脂質を“過剰に摂っている”と答えた人は1割程度となっています。（アンケート調査）



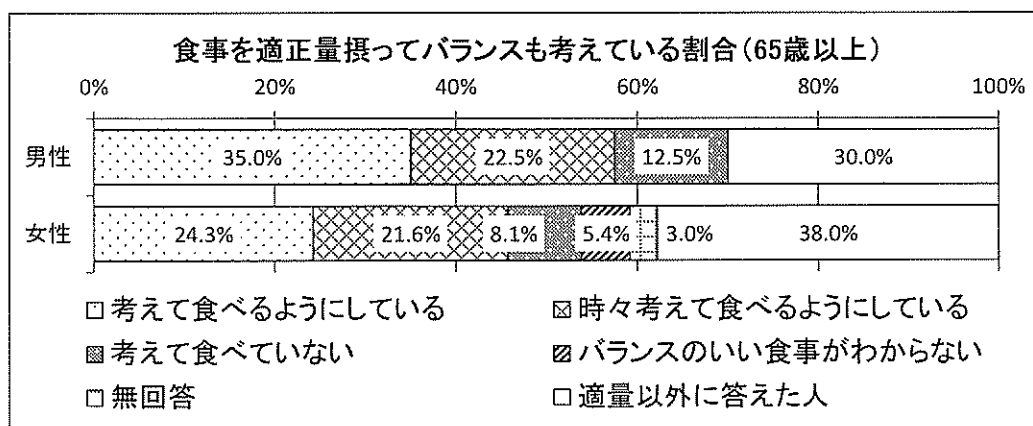
※アンケートでは、1日に取油の量として適正量である大さじ3杯程度とっていますか。（食品や料理の油も含む）と質問し、食品や料理に含まれる油の目安量を示した。

※参考 沖縄県は「脂肪エネルギー比率を30%を超える人」の割合が全国より高くなっています。脂肪エネルギー比率の目標は20~25%未満。（※H18 国民栄養調査、県民栄養調査）



・栄養バランスや食事量

うるま市アンケートにて普段の食事は“適量と摂っている”と答えた人は65.4%（男性70%、女性62.2%）。さらにバランスも考えて食べるようにしている人の割合は全体（78人中）の29.9%（男性35.0%、女性24.3%）となっています。



②歯の健康

◆歯に関連するうるま市と国・県との比較

項目	国 (H21年)	県 (H18年)	うるま市(アンケート調査)		
			(H23年)	参考	
定期歯科検診を受けている人	60代 (55～64歳)	36.8%	—	30.9%	(65歳～74歳) 29.5%[23名/78名中] 男27.5%[11名/40名中] 女32.4%[12名/37名中]
定期的に歯石除去・歯面部清掃を受けている人	60代 (55～64歳)	43.0%	22.9%	28.2%	(65歳～74歳) 29.5%[23名/78名中] 男22.5%[9名/40名中] 女37.8%[14名/37名中]
	50代 (45～54歳)	—	値なし (目標40%以上)	21.5%	
歯間部清掃用具を毎日使用している割合	50代 (45～54歳)	45.7%	23.9%	17.7%	(65歳～74歳) 15.4%[12名/78名中] 男17.5%[7名/40名中] 女13.5%[5名/37名中]
	40代 (35～44歳)	44.6%	16.8%	5.5%	
喫煙が及ぼす影響についての十分な知識の普及(歯周病との関連)		40.4% (H20年)	—	23.1%	(65歳～74歳) 23.1%[18名/78名中]

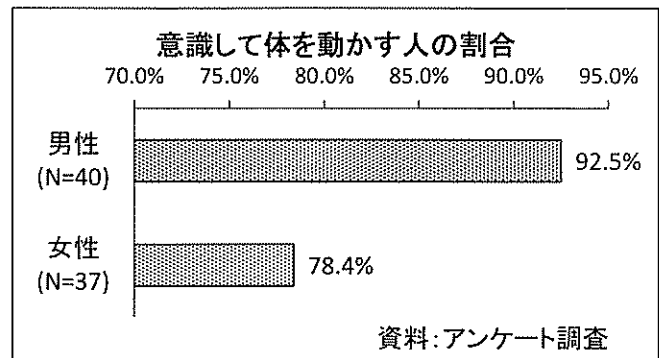
資料: 国民健康栄養調査、県民健康栄養調査、うるま市アンケート調査

歯みがきを毎食後している割合(65～74歳)は39.7%です。(アンケート調査)

男性	37.5%[15名/40名中]
女性	43.2%[16名/37名中]
計	39.7%[31名/78名中]

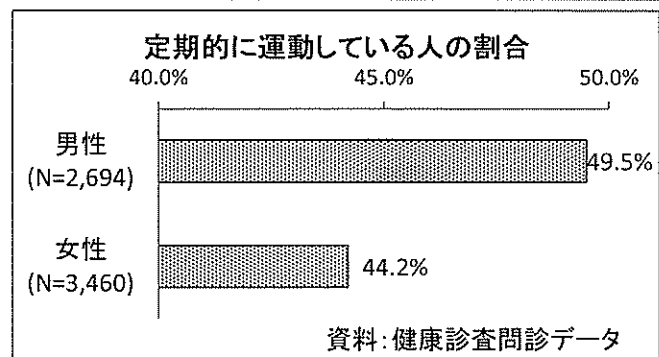
③運動

意識して体を動かす人の割合は、男性で92.5%、女性で78.4%と高くなっています。

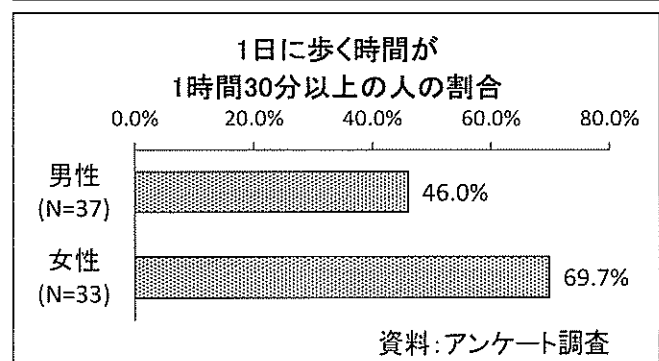


定期的に運動している人の割合は、男性で49.5%、女性で44.2%と約半数となっています。

※定期的に運動している: 1日30分以上の運動を週に2日以上、1年持続している人の割合

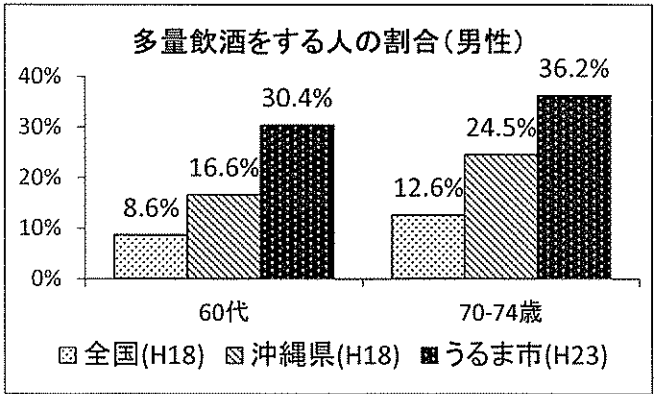


1日に歩く時間が1時間30分以上の人の割合は、女性で69.7%、男性で46.0%となっており、女性の方が上回っています。

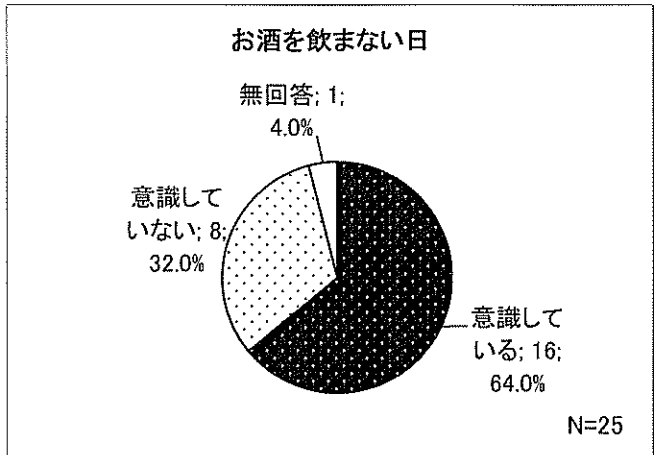


④酒

多量飲酒について女性は多量飲酒者がいないが、男性の割合は、国及び県を上回っています。（多量飲酒とは1日の飲酒量を純アルコール換算で60g以上飲むこと）

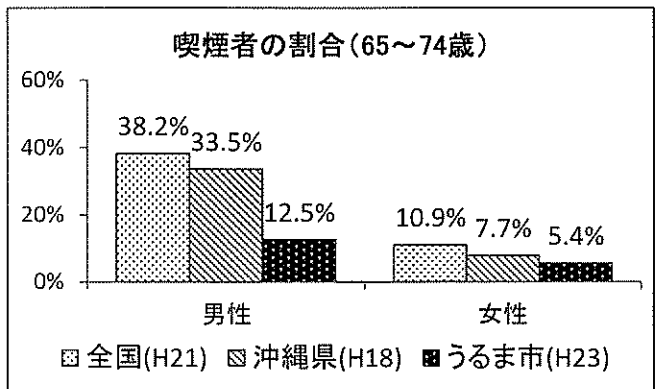


休肝日を設けるよう意識している人の割合は64.0%で、青壮年期(57.9%)より高くなっています。



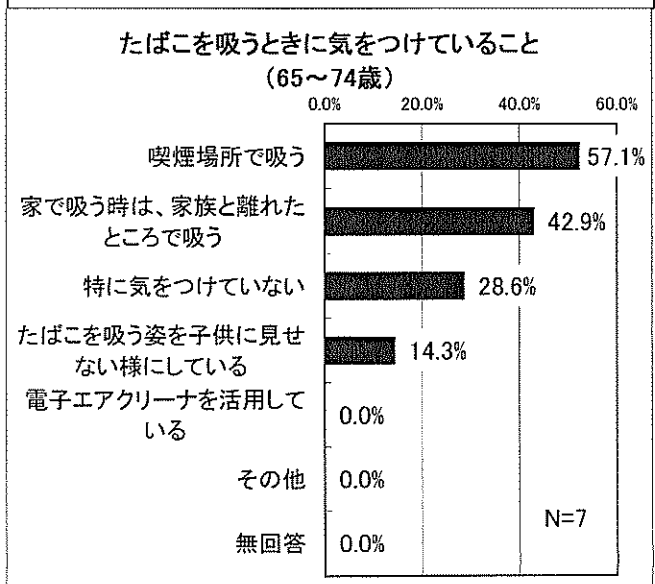
⑤たばこ

国(H21全年齢)と県(H18年全年齢)と市(H23年65~74歳)の喫煙率を比較すると、高齢期の喫煙率は国・県よりも低い状況にあります。



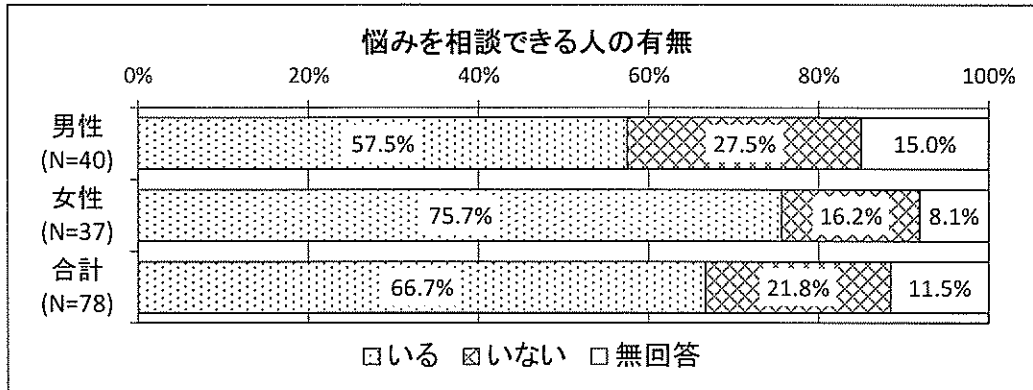
何らかの分煙に取り組んでいる人は71.4%で青壮年期(90.5%)より低くなっています。（「特に気をつけていない」と答えた人の割合28.6%〔2名/7名中〕を除いた割合）

たばこを吸う姿を子供に見せないように気をつけている人の割合は14.3%となっています。



⑥ゆとり

悩みを相談できる人がいると答えた人の割合は66.7%〔52名/78名中〕、女性で75.7%、男性で57.5%となっています。男性の4分の1は相談できる人がいないと答えています。



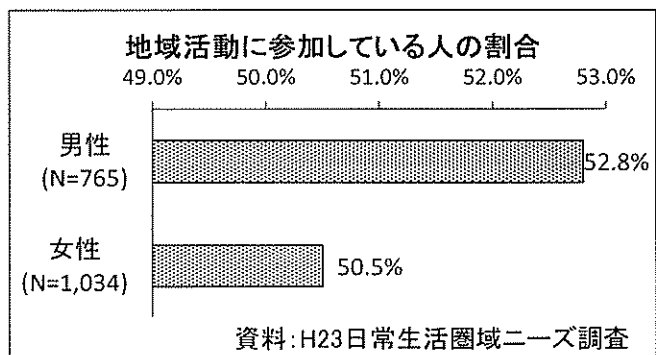
ストレスを感じた人の割合は、全体で60.3%で、男性（50%）より女性（70.3%）の方がストレスを感じた人の割合が高くなっています。（青壮年期：男性82.5%、女性85.9%）

睡眠時間が6時間未満の人の割合は、男女別でみると女性は40.5%で県より高くなっています。

◆ゆとりに関連する、国・県(全年齢)との比較

項目		国 (国民健康・栄養調査)	県(H18年) (県民健康栄養調査)	うるま市(H23年 アンケート調査)
ストレスの低減「ストレスを感じた人」の割合の減少	全体	61.3% (H20年)	56.4%	60.3%〔47名/78名中〕 ストレス非常にある7.7%〔6名〕・ややある51.3%〔40名〕
	男性	-	54.3%	50%〔20名/40名中〕 非常にある7.5%〔3名〕・ややある42.5%〔17名〕
	女性	-	58.3%	70.3%〔26名/37名中〕 非常にある8.1%〔3名〕・ややある62.2%〔23名〕
睡眠への対応「平均睡眠時間を6時間未満」の人の割合の減少	全体	-	35.7%	32.1%〔25名/78名中〕
	男性	-	32.7%	22.5%〔9名/40名中〕
	女性	-	38.3%	40.5%〔15名/37名中〕
睡眠による休養を十分にとれていない人の減少	18.4% (H21年)	18.0%	21.8%〔17名/78名中〕	
睡眠の確保のために睡眠補助品やアルコールを使うことのある人の減少	19.5% (H19年)	-	19.3%〔15名/78名中〕 (毎日のむ〔8名〕) (2日に1回のむ〔5名〕) (1週間に1回〔2名〕)	
自殺者の動向「自殺者を減少させる」(年間)	29,554人 (H22年人口動態統計)	27.5(人口10万対) (H18年人口動態統計自殺死亡率)	23名 (H21年自殺者数)	

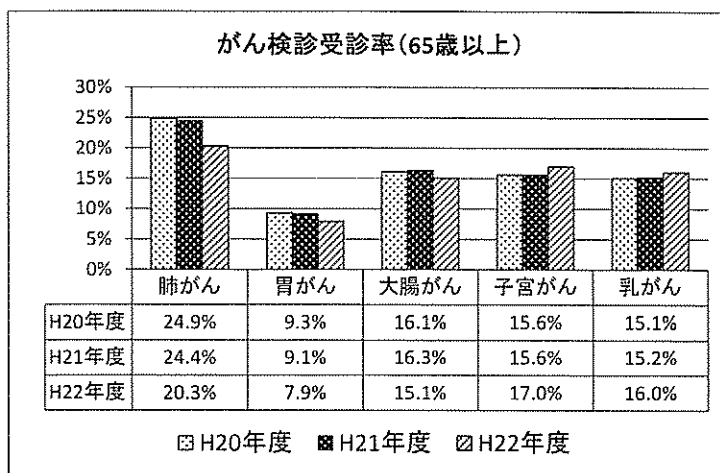
地域活動に参加している人の割合は、男女ともに約5割となっています。



⑦健康管理

・がん検診

がん検診受診率は、減少やや横ばい傾向にあります。また、県の目標である、肺がん45%、胃がん18%、大腸がん22%、子宮がん25%、乳がん25%には達していない状況です。



がん検診受診状況(65歳以上)

	H20年度			H21年度			H22年度		
	対象者数(人)	受診者数(人)	受診率(%)	対象者数(人)	受診者数(人)	受診率(%)	対象者数(人)	受診者数(人)	受診率(%)
肺がん	19,937	4,965	24.9%	19,937	4,869	24.4%	19,164	3,880	20.3%
胃がん	19,937	1,852	9.3%	19,937	1,806	9.1%	19,164	1,516	7.9%
大腸がん	19,937	3,198	16.1%	19,937	3,254	16.3%	19,164	2,880	15.1%
子宮がん	11,520	1,795	15.6%	11,520	1,799	15.6%	10,576	1,792	17.0%
乳がん	11,520	1,732	15.1%	11,520	1,750	15.2%	10,576	1,690	16.0%

資料:地域保健事業報告資料

・特定健康診査

平成20年4月に「高齢者医療の確保に関する法律」が施行され、生活習慣病予防のためにメタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)の概念が導入された特定健診・保健指導が医療保険者に義務付けられました。受診率は上昇傾向にありますが、健診受診率目標値65%は達成できていない状況です。また受診率を県より比較すると低くなっています。

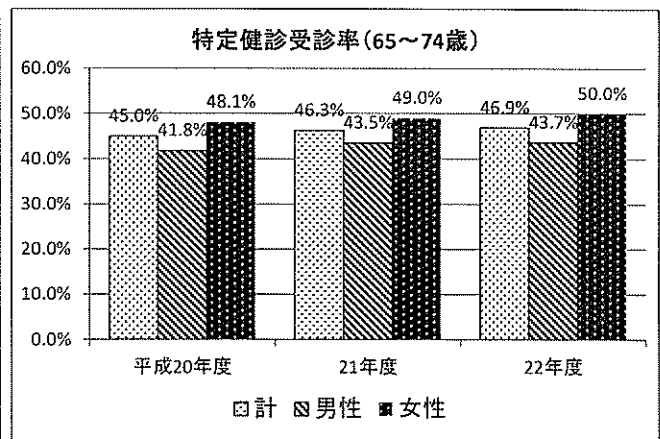
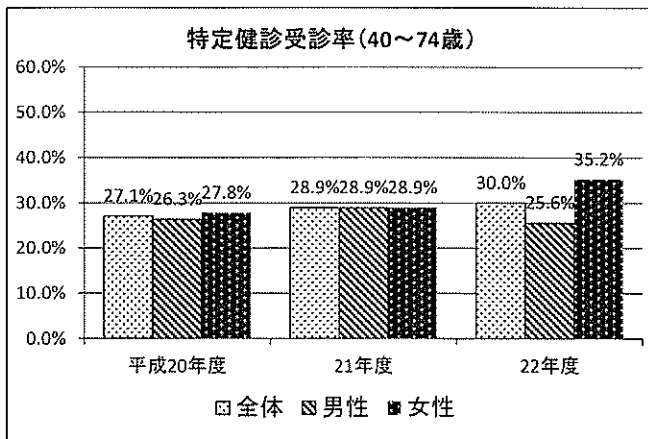
特定健診(40~74歳)

	平成20年度			平成21年度			平成22年度		
	対象者数(人)	受診者数(人)	受診率(%)	対象者数(人)	受診者数(人)	受診率(%)	対象者数(人)	受診者数(人)	受診率(%)
全体	24,561	6,741	27.5%	24,808	7,169	28.9%	24,898	7,459	30.0%
男性	11,435	3,005	26.3%	11,381	3,291	28.9%	11,371	3,455	25.6%
女性	13,426	3,736	27.8%	13,427	3,878	28.9%	13,527	4,004	35.2%

特定健診(65~74歳)

	平成20年度			平成21年度			平成22年度		
	対象者数(人)	受診者数(人)	受診率(%)	対象者数(人)	受診者数(人)	受診率(%)	対象者数(人)	受診者数(人)	受診率(%)
全体	7,750	3,486	45.0%	7,582	3,509	46.3%	7,275	3,408	46.9%
男性	3,778	1,577	41.8%	3,743	1,627	43.5%	3,628	1,585	43.7%
女性	3,972	1,909	48.1%	3,839	1,882	49.0%	3,647	1,823	50.0%

資料:国保連合会特定健診データ管理システム



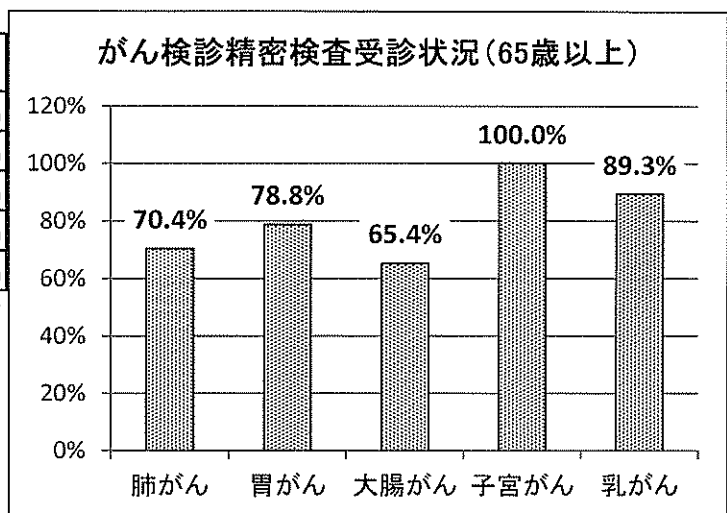
・がん検診（精密検査受診率）

がん検診精密検査受診の未受診は、子宮がんを除き約10%～30%みられます。

がん検診精密検査受診状況(65歳以上)

	精密検査者数(人)	未受診者数(人)	精密検査受診率(%)
肺がん	172	51	70.4%
胃がん	108	23	78.8%
大腸がん	266	92	65.4%
子宮がん	1	0	100.0%
乳がん	149	16	89.3%

資料：平成22年地域保健事業報告



・特定保健指導

特定保健指導も特定健診同様に医療保険者に義務づけられました。保健指導率は、年々高くなっており、目標値45%を達成しています。

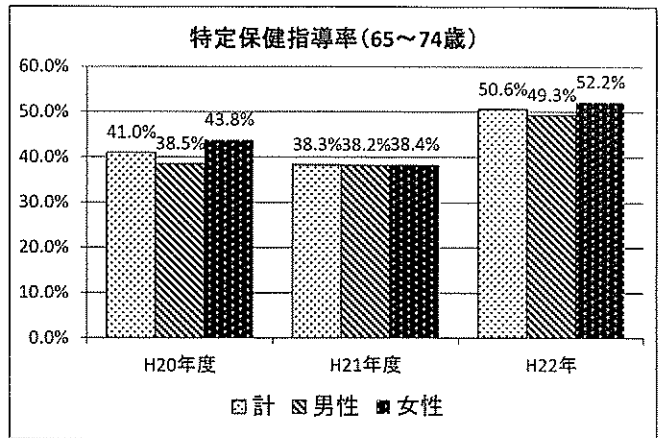
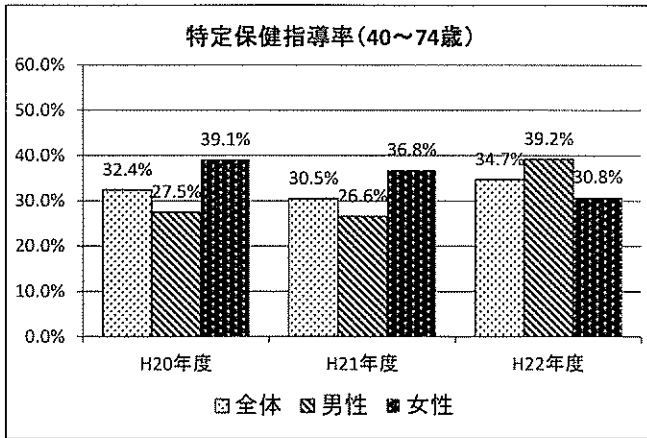
特定保健指導(40～74歳)

	平成20年度			平成21年度			平成22年度		
	対象者数(人)	受診者数(人)	受診率(%)	対象者数(人)	受診者数(人)	受診率(%)	対象者数(人)	受診者数(人)	受診率(%)
全体	1,521	493	32.4%	1,595	486	30.5%	1,566	543	34.7%
男性	879	242	27.5%	986	262	26.6%	610	304	39.2%
女性	642	251	39.1%	609	224	36.8%	956	239	30.8%

特定保健指導(65～74歳)

	平成20年度			平成21年度			平成22年度		
	対象者数(人)	受診者数(人)	受診率(%)	対象者数(人)	受診者数(人)	受診率(%)	対象者数(人)	受診者数(人)	受診率(%)
全体	718	294	41.0%	706	270	38.3%	627	317	50.6%
男性	382	147	38.5%	414	158	38.2%	353	174	49.3%
女性	336	147	43.8%	292	112	38.4%	274	143	52.2%

資料：国保連合会 特定健診データ管理システム



・毎日体重を測る人の割合

毎日の生活習慣を振り返り、健康づくりの第一歩として毎日体重測定することを勧めています。アンケート調査で毎日測定すると答えた人の割合は、男性17.5%、女性13.5%と男女ともに低くなっています

